単元指導計画

執筆者名： 若松 大輔

教科	社会科	学校段階・学年	小学５年
単元名	情報を活かして発展する産業		
教材名	「情報（データ）の力で八万食堂を立て直そう！」（経営戦略のコンサル）		
実施時期	12月～1月	単元の時間数	全　7　H

1　学習指導要領の関連内容

⑷ 我が国の産業と情報との関わりについて，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

（イ） 大量の情報や情報通信技術の活用は，様々な産業を発展させ，国民生活を向上させていることを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

（イ） 情報の種類，情報の活用の仕方などに着目して，産業における情報活用の現状を捉え，情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え，表現すること。

2　この教科・単元で重視したいこと（学習者の実態、教科の本質、社会に出てからの必要性等）

本単元「情報を活かして発展する産業」は、一般的に、各産業の情報活用の事例（医療の場合、観光の場合、福祉の場合等）について個別の知識を断片的に知る活動に終始する傾向にある。そのため、単に各事例を「知る」ということから、情報を活かして発展する産業について個別の具体を土台に抽象化して「認識を深める（社会の解像度を上げる）」ということを目指したい。「認識を深める」ためには、子どもたちが実際の社会問題に対して、単元の中で学んだことを武器にして具体と抽象を行き来しつつ、問題解決をすることで達成されるのではないか、という見通しを立てて単元を計画した。

3-1　単元目標

情報（データ）の種類や情報の活用の仕方に着目して、産業が発展するための情報活用の特徴について考え認識を深めること

観点別評価規準 ※変更可

（主体的に学習に取り組む態度）	（思考・判断・表現）	（知識・技能）
産業を発展させるための情報の活用方法について、自分なりに考え、身につけた知識や考え方を問題解決に活かそうとしている。	産業を発展させるためには、どのような情報をどのように活用することが有効であるかを考察し、その考察した内容を適切に表現することができる。	産業における情報活用に関する個別的・基礎的な知識を身につけている。

3-2

【重点目標】（「見方・考え方」）

「本質的な問い」（単元を貫く問い）

産業を発展させるために、どのように／どのような情報（データ）を活用すればよいのか

「永続的理解」

産業をよりよくさせていくためには、人の経験と勘に頼っていたものを大量のデータとして収集して、これまでの業務を効率化

【知識・技能】

	する方向と、新たな付加価値を創出する方向に、活用すればよい	
4	評価方法	
	【パフォーマンス課題】 全国的に昔ながらの飲食店は経営に困っています。働いても働いてもなかなか黒字にならないところもあります。大阪にある八万食堂もその１つです。八万食堂の店主の困りごとに対して、学んだことを踏まえて、「何のために」「どのような情報（データ）」を使うとよいのかをアドバイスしよう。 ※八万食堂の店主による映像を視聴する。	【その他の評価方法】 単元テスト

5	評価基準 パフォーマンス課題に対応するルーブリック ※観点・レベルの数については、変更可。		評価基準 知識・技能のチェックリスト
	A	「問題の把握」と「情報の活用方法」と「提案」に一貫性がある。なおかつ、その提案が具体的である。	
	B	「問題の把握」と「情報の活用方法」と「提案」に一貫性がある。	
	C	「問題の把握」と「情報の活用方法」と「提案」に一貫性が乏しい。	

6	単元の指導の流れ		
	流れ （時数）		内容
	導入 第１時 【全体】	出会う	映像を見て、パフォーマンス課題と出会わせる。 ・課題の整理：映像の中の店主が何に困っているのかを整理する。 ※「利益をあげる」ということが大きな目的であるが、ここで「利益」とは「売上をあげること」と「経費を抑えること」で達成されることを説明する。 ・次回までの課題の提示：情報をうまく活用している事例がコンビニであることを示し、次の時間までに各自コンビニの事前調査に行くことを指示する。
	コンビニ学習① 第２時 【全体】	理解する	本時の中心的な問い：コンビニでは、販売の仕事に、どのような情報（データ）をどのように活用しているのだろうか？ キーワード：POS システム 学習活動①：昔のコンビニと現在のコンビニを比較する（映像視聴） 学習活動②：POS システムの理解（教科書・デジタル資料） 備考：「永続的理解」における「これまでの業務の効率化する方向」に該当
	コンビニ学習② 第３時 【全体】		本時の中心的な問い：コンビニでは、販売の仕事に、どのような情報（データ）をどのように活用しているのだろうか？ キーワード：在庫管理システム 学習活動①：昔のコンビニと現在のコンビニを比較する（映像視聴）

			学習活動②：在庫管理システムの理解（教科書・デジタル資料集） 備考：「永続的理解」における「これまでの業務の効率化する方向」に該当
	コンビニ 学習③ 第４時 【全体】		本時の中心的な問い：コンビニでは、商品を開発するために、どのような情報（データ）をどのように活用しているのだろうか？ キーワード：顧客管理システム、コメント分析ツール、ウェブカメラ 学習活動：商品開発をするための情報（データ）の収集と分析に関する理解（デジタル資料集・映像） 備考：「永続的理解」における「新たな付加価値を創出する方向」に該当
	作品づくり ① 第５時 【個人】	問題解決する	本時の中心的な問い：八万食堂を立て直すためには「何のために」「どのような情報（データ）」「どのように」を使うとよいのか？ 学習活動：作品づくり（ワークシート、ロイロノート、プレゼンテーションソフト等） ＋最後10分相談タイム ※学習形態は、グループや個人など個別の状況に応じる。
	作品づくり ② 第６時 【個人】		本時の中心的な問い：八万食堂を立て直すためには「何のために」「どのような情報（データ）」「どのように」を使うとよいのか？ 学習活動：作品づくり（ワークシート、ロイロノート、プレゼンテーションソフト等） ＋最後10分相談タイム ※学習形態は、グループや個人など個別の状況に応じる。
	まとめ 第７時 【グループ／全体】	まとめる	学習活動①：子どもたちが自身の作品を発表して考えを共有する。 学習活動②：今回のコンビニ学習と作品づくりの経験を踏まえて、「産業を発展させるために、どのように／どのような情報（データ）を活用すればよいのか」をまとめる（単元全体のふりかえり）。